

《スタートアップ・エコシステム拠点都市関連施策》

グローバル・スタートアップ・アクセラレーションプログラム
(スタートアップ・エコシステム拠点都市機能強化プログラムを含む)



令和6年7月

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

スタートアップ・エコシステム拠点形成に向けた戦略

内閣府、経済産業省、文部科学省は、「Beyond Limits. Unlock Our Potential. ～世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略～」(2019年6月)を策定し、スタートアップ・エコシステム拠点形成に向けた7つの戦略に基づき各施策を実行。

都市 City / Community

戦略1：世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点都市の形成

- ▶ スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略に基づき、エコシステムの中核となる拠点都市を選定。
- ▶ 拠点都市支援のランドマーク・プログラムとして、アクセラレーションプログラムを実施。
- ▶ 海外投資家等に向けた英語版Webサイト設立、海外メディア記事掲載等により世界への情報発信を強化。

連携

大学 Mindset / Education

戦略2：大学を中心としたエコシステム強化

- ▶ 起業家教育プログラムを強化。
- ▶ 学内外の人材の活用・連携を強化。
- ▶ 官民によるシーズ研究の発掘と若手研究者の育成。
- ▶ 初等中等教育段階における創造性の涵養に係る取組を推進。

活用

アクセラレータ Acceleration

戦略3：世界と伍するアクセラレーション・プログラムの提供

- ▶ グローバルトップアクセラレーターと連携し、拠点都市支援のランドマーク・プログラムとして、アクセラレーションプログラムを実施。

Gap Fund Growth

戦略4：技術開発型スタートアップの資金調達等促進 (GapFund)

- ▶ 日本版SBIR制度の見直しにより、支出目標の設定及び各府省統一的な運用ルール等を策定するとともに、課題設定型プログラムを拡大。
- ▶ ファンディングエージェンシー等での大規模なGap Fundの供給。

公共調達 Procurement

戦略5：政府、自治体がスタートアップの顧客となってチャレンジを推進

- ▶ 内閣府オープンイノベーションチャレンジを強化。
- ▶ 入札へのスタートアップ参加促進、地方自治体のトライアル発注制度等活用促進。

繋がり形成、人材流動化

戦略6：エコシステムの「繋がり」形成の強化、気運の醸成

- ▶ スタートアップ支援機関プラットフォーム (Plus) を設立。
- ▶ オープンイノベーション推進組織の強化や日本オープンイノベーション大賞拡充により、オープンイノベーションの気運を醸成。



戦略7：研究開発人材の流動化促進

- ▶ 外部組織で職務や能力に見合った独自の給与体系を適用し人材流動化を促進。



スタートアップ・エコシステム拠点都市

スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略（2019年6月 内閣府、文科省、経産省）に基づき、エコシステムの中核となる拠点都市を選定（2020年7月）

【グローバル拠点都市】

スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム

（東京都、渋谷区、川崎市、横浜市、茨城県、つくば市、千葉市等）

スタートアップやVC・大企業等の支援者が圧倒的に集積する東京都心部（渋谷、六本木・虎ノ門、大手町・丸の内、日本橋）を核に、ハブ&スポークの連携で研究開発拠点を有する各都市（川崎、つくば、横浜、千葉）と連結。東京大、慶応大、早稲田大など有力大学連携で研究開発成果の事業化を促進。各自治体を中心としてスタートアップの新技术・新サービスの実証フィールドを提供。「新しい日常」に対応するデジタル・トランスフォーメーションも推進。



虎ノ門ヒルズインキュベーションセンター「ARCH」

Central Japan Startup Ecosystem Consortium（愛知県、名古屋市、浜松市等）

日本を代表する製造業の集積とスタートアップとの繋がりでイノベーション創出を加速。モビリティ、AI・デジタル、インフラ、ヘルスケア、アグリ、光などを重点分野に協創プロジェクトを推進。名古屋大学を中心とする大学群で起業家教育・デジタル教育を強化。日本最大級のスタートアップ支援拠点「STATION Ai（フランスのSTATION Fと連携）」を整備。



NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE

大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム（大阪市、京都市、神戸市等）

三都市の強みを融合（大阪：大企業、資金、人材、京都：研究シーズ、製品化支援、神戸：社会実証実験・公共調達）。ヘルスケア、ものづくり、情報通信分野に重点。大阪大学、京都大学、神戸大学を中心に大学・研究機関、企業が連携。「大阪・関西万博」に向け経済界を含め京阪神一体となった支援体制を構築し、スタートアップの新技术・新サービスの機会創出を実施。



Hack Osaka

福岡スタートアップ・コンソーシアム（福岡市等）

2012年「スタートアップ都市宣言」以降、スタートアップカフェやFukuoka Growth Nextの設置など、官民共働でスタートアップ支援を実施。九州大学を中心としたアントレプレナー教育の充実や、独立系VCの活躍、大型スタートアップイベントの開催、海外との連携強化などエコシステム形成が加速中。国家戦略特区などの国の支援策に、市独自の施策を合わせることで、一気通貫型のスタートアップ支援を実施。



Fukuoka Growth Next

【推進拠点都市】

札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会（札幌市等）、仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会（仙台市等）、広島地域イノベーション戦略推進会議（広島県等）、北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム（北九州市等）

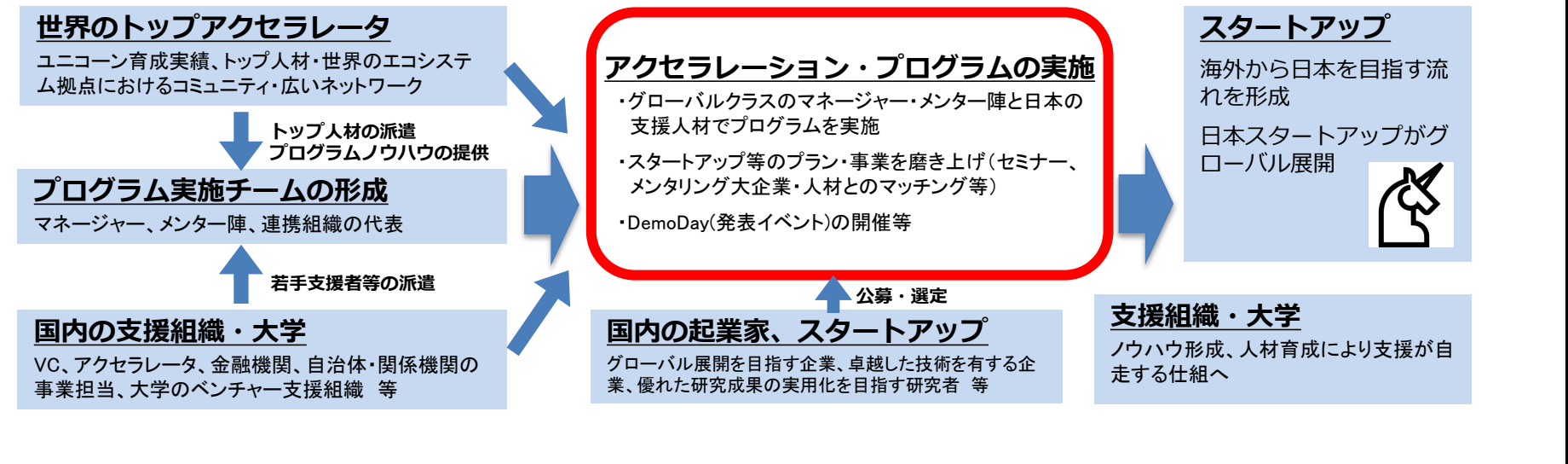
スタートアップ・エコシステム形成推進事業（アクセラレーション・プログラム）概要

背景・目的

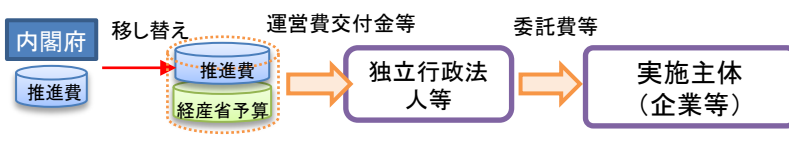
- スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略（2019年6月）に基づき、エコシステムの中核となる拠点都市を選定（2020年7月）。
- エコシステム形成と成長促進、官民の投資を誘発するため、拠点都市支援のランドマーク・プログラムとして、2020年度当初予算で1.5億円、2020年度補正予算で10億円、2021年度・2022年度補正予算で15億円の予算を確保し、アクセラレーション事業を実施（2023年度補正予算では19.1億円の予算を確保）。
- これまで（2020年度～2023年度）の累計で約380社のスタートアップに対し、支援を実施。

事業概要

- 海外トップアクセラレータによるプログラムを実施し、世界に羽ばたくスタートアップの育成、世界のトッププレーヤーと各拠点の支援組織（自治体、ベンチャーキャピタル等）の繋ぎやノウハウの移転を実施する。



資金の流れ



期待される効果

事業開始当初からグローバルを目指すスタートアップの育成（＝「ボーングローバル」）と海外事業展開の促進。海外VC等の投資家や海外グローバル企業とのネットワークの確立とともに、投資の実務・契約の基本・事業展開のスピード感など事業展開の基盤となる知見や行動様式等もグローバル水準に引き上げることに貢献。

これまでのアクセラレーションプログラム実施状況について（2023年度事業）

◆ 2023年度事業（2022年度補正予算15億円）【実施中】

□実施機関： 日本貿易振興機構（JETRO）

□実施期間： 2023年9月～2024年2月+ 事業発表会（Demo Day）

□参加者：**拠点都市に本社を置く企業を中心に広くスタートアップを募集。100社のスタートアップを選定。**

※応募期間 6月22日～8月7日、応募企業 208社、参加企業 100社。

□コース：**8コース設置し、各種分野・各ステージにあわせたコースを設定。**

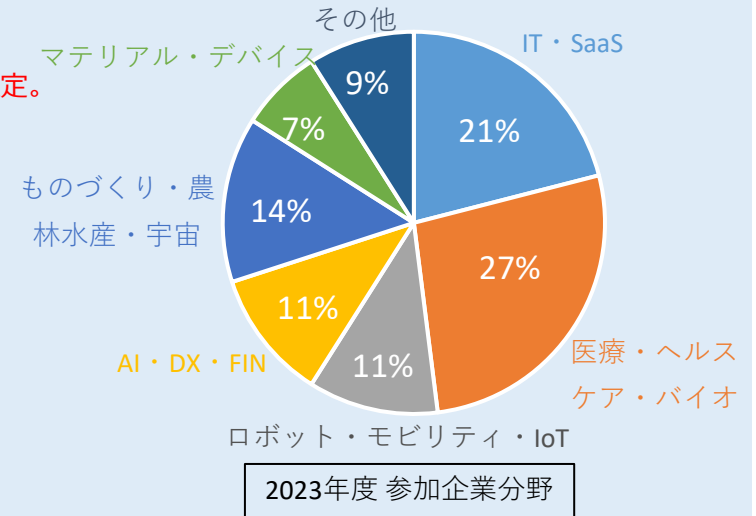
【分野特化型コース】コース名 参加社数（担当アクセラレータ）

- ・Global Preparation Course 25社（ Plug and Play ）
- ・Enterprise Business Course 15社（ Alchemist Accelerator ）
- ・Deep Tech Course 30社（ Berkeley SkyDech ）
- ・Bio/Healthcare Course 11社（ CIC ）
- ・Cleantech Course【新設】 9社（ Blue Startups ）
- ・Web3 Course【新設】 10社（ DRAPER UNIVERSITY ）

【**エクイティコース**】2コース新設（※2023年11月頃公募開始）

- ・Ecosystem Building Program 12社採択予定（Techstars）
- ・Silicon Valley Hub Program 採択数未定（Alchemist Accelerator）

- ✓ Global Preparation Courseコース等の基盤コースを維持しつつ、スタートアップや省庁のニーズ等を踏まえた分野特化型コース「**Web3コースとCleantechコース**」を新設。
- ✓ 国内スタートアップの海外進出を着実に推進させるとともに、対日直接投資の増加を促進すべく、スタートアップへの出資を伴う「**エクイティコース**」を新設。
- ✓ 昨年度の6コースからなるプログラムを8コースに拡充。スタートアップに質の高いプログラムを提供。



□拠点都市機能強化プログラム

✓ スタートアップ・エコシステム拠点都市毎に、スタートアップを育成するための環境整備の状況は様々。

自治体等が自らの強み・弱みを踏まえて拠点都市としての海外との連携機能強化に必要な取組案を作成し、それを基に有望なものを支援。

（各取組の目標が明確に設定され、効果の高い事業メニューを厳選。なお、自治体既存継続事業の付け替えは認められず、新規性や発展性のある取組を支援）

✓ スタートアップ・エコシステム拠点都市の機能を強化し、継続的にエコシステムが回っていく体制構築を目指す。

□ 実施期間：2023年6月～2024年3月

プログラム実施例

- 東京コンソーシアム：CES2024派遣プログラム、スタートアップ・エコシステム形成指標構築・リサーチ
- Central Japan Startup Ecosystem Consortium：地域ブランディング・海外PR、グローバル展開支援、海外拠点都市連携
- 大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム：ブランド確立のためのデータ整備、海外ネットワーク構築、海外展開アクセラレーションプログラム
- 福岡コンソーシアム：海外事業展開支、研究開発型スタートアップGlobal Challenge、エコシステム活性化推進イベント

2023年度 Global Startup Acceleration Program 公募概要

コース	分野	アクセラレーター	アクセラ・コース概要	参加社数	ステージ※ (目安)
分野特化型コース					
Enterprise Business (B2B)	To B向けサービス (B2B、B2B2C、SaaS等)	AlchemistX 	アーリーステージのエンタープライズ (B2B/B2B2C) スタートアップ支援・投資に特化した米国発アクセラレーター。プログラム参加企業の総資金調達額は14億ドル以上。	15社	プレシード～シリーズB
Deep Tech (IoT/Robotics /Mobility and Others)	ディープテック (IoT、ロボティクス、モビリティ等含む) 大学発・研究型等	Berkeley SKYDECK 	米国カリフォルニア大学バークレー校による大学発アクセラレーター。大学が持つ優秀な人材や優れた環境、リソースやネットワークに直結しているため大学発スタートアップやディープテックの支援に強みを有する。	30社	同上
Bio/Healthcare	デジタルヘルス、ヘルスクア、医療機器、バイオ等	CIC 	1999年に米国マサチューセッツ州ケンブリッジ市で設立されたイノベーションコミュニティ。ボストンエリアにおける製薬・ライフサイエンス・ヘルスクア業界との強いコネクションを有する。	11社	同上
Cleantech	クリーンテック、エネルギー、サステナビリティ等	Blue Startups 	ハワイに拠点のある米国Top20のアクセラレーター。世界的なネットワークを持ちアジアと米国エリアの懸け橋として活動。	9社	同上
Web3 (Fintech/ Metaverse/ Marketplace and others)	全web3関連分野 (フィンテック、メタバース、マーケットプレイス等)	DRAPER UNIVERSITY 	米国で著名な投資家Draper一族の3代目Tim Draperが創設。ブロックチェーン関連の支援、投資実績に強みを持つアクセラレーター。	10社	同上
Global Preparation	全分野 海外展開検討段階の スタートアップ向け	Plug and Play 	2006年創立の米国シリコンバレー発アクセラレーター/VC。国内3拠点 (東京・京都・大阪) を含み、世界中に50以上の拠点を有する。	25社	プレシード～シリーズA
Equityコース(2023年度新規)					
Ecosystem Building Program	調整中	Techstars 	2006年設立の米国発アクセラレーター。世界アクセラレーターランキングで常にトップクラスで、世界各国で50のアクセラレーションプログラムを実施し、これまでに約7,000のスタートアップを育成。	12社程度	プレシード～シード
Silicon Valley Hub Program	B2B	Alchemist Accelerator 	アーリーステージのエンタープライズ (B2B/B2B2C) スタートアップ支援・投資に特化した米国発アクセラレーター。プログラム参加企業の総資金調達額は14億ドル以上。	9社程度	プレシード～シード

※成長段階をさす (プレシード：起業前/シード：アイデア段階・プロダクトリリース前後・外部資金調達前/シリーズA：プロダクト検証中・マーケットフィット実現済み/シリーズB：マネタイズ収益化検証済み)

《Equityコースの特徴》

- ・プログラム終了後も海外トップアクセラレーターが有する広範な海外投資家等とのネットワークの活用によりスタートアップの成長を加速化
- ・スタートアップの持続的な成長支援による海外展開の加速化と対日直接投資の促進